

令和7年度「全国学力・学習状況調査」の結果 —分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

区 名	中央区
学 校 名	高津小学校
学校長名	柿野 久

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和7年4月17日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数・理科）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数
- ・理科

(2) 質問調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・高津小学校では、第6学年 26名

令和7年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

- 国語については、正答率が全国平均を少し下回る結果であった。
 - ・「情報の扱い方に関する事項」「我が国の言語文化に関する事項」について、全国平均を上回った。
 - ・「言葉の特徴や使い方に関する事項」「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」について、全国平均を下回った。
- 算数については、正答率が全国平均を下回る結果であった。
 - ・「数と計算」「図形」「測定」「変化と関係」「データの活用」のすべての領域について、全国平均を下回った。
- 理科については、正答率が全国平均を下回る結果であった。
 - ・「エネルギー」「粒子」「生命」「地球」のすべての領域について、全国平均を下回った。
- 平均無解答率については、国語、算数、理科ともに大阪市平均を下回っており、問題に最後まで向き合おうとする意欲があることがわかる結果となった。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

【国語】

正答率が全国平均を少し下回る結果であった。「情報の扱い方に関する事項」では2ポイント、「我が国の言語文化に関する事項」では6ポイント正答率が全国平均を上回った。「言葉の特徴や使い方に関する事項」では3ポイント、「話すこと・聞くこと」では4ポイント、「書くこと」では11ポイント、「読むこと」では6ポイント全国平均を下回った。特に「書くこと」については、複数の条件を満たして記述することができていなかった。記述式の問題や一問一答形式でない問題に課題が見られた。平均無解答率は、全国平均を下回っており、問題に最後まで向き合おうとする意欲が見られた。

【算数】

すべての領域において、正答率が全国平均を下回る結果であった。「数と計算」では7ポイント、「図形」では2ポイント、「測定」では16ポイント、「変化と関係」では12ポイント、「データの活用」では12ポイント全国平均を下回った。特に「測定」については、解を求めるために必要な数値を複数見つける問いにおいて、正答率が大きく下回っていた。問題を解くための必要条件が複数になる問題に課題が見られた。平均無解答率は、全国平均を下回っており、問題に最後まで向き合おうとする意欲が見られた。

【理科】

正答率が全国平均を下回る結果であった。「エネルギー」では5ポイント、「粒子」では6ポイント「生命」では±0ポイント「地球」では2ポイント、全国平均を下回った。特にあてはまることを自分で考えて答える問題ができていなかった。平均無解答率は、全国平均を下回っており、問題に最後まで向き合おうとする意欲が見られた。

質問調査より

- ・「学校に行くのは楽しい」について、肯定的回答率が88%であり、全国平均を上回った。「自分には、よいところがある」については、最も肯定的な回答が63.0%あり、全国平均を16ポイント上回った。本校が大切にしている自尊感情の育成が成果となって表れている。
- ・「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか」について肯定的回答率は全国平均とほぼ同じであり、また「分からないことや詳しく知りたいことがあった時、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか」について肯定的回答率は全国平均を11ポイント上回った。課題をとらえ、主体的に考えることについて楽しんだり、工夫したりする習慣が身についてきていることを示す結果であると考え。
- ・「朝食を毎日食べていますか」については、「当てはまる」の回答が全国平均を13ポイント下回った。本校では、数年来下回っており、本校の大きな課題であると考え。

今後の取組(アクションプラン)

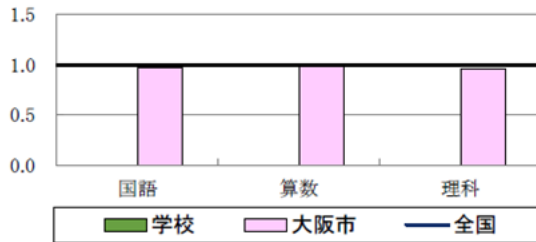
- 基礎的・基本的な内容の確実な定着のために、今後も、授業における重点の置き方や反復練習等、手立ての工夫や練習 時間の確保について検討、実践をすすめる。プリント学習やデジタルドリル学習等についても、朝学習や放課後学習に取り入れていく。
- 「書くこと」については、苦手意識を持つ児童も多く、引き続き授業の中で重視していく。その際、必要な条件や資料の選択とその読み取りなども取り入れ目的に応じて適切に資料を選択する力や資料を的確に読み取る力、資料を使って考えをまとめる力を高めることができるようにする。
- 授業のなかで、自力解決の時間を確保し、自分の考えをしっかりと持って話し合いの場に臨めるようにする。この時、パソコンも効果的に活用できるようにする。また、ねらいを明確にし、見方・考え方を意識した話し合いを行うことによって、自分の考えをより高め、それを「書く」ことができるようにする。
- 引き続き、読書指導を強化し、国語科の読解指導とあわせ、長文の問題も最後までしっかりと「読むこと」のできる力を高める。また、さまざまな言語活動を工夫し、効果的に授業に取り入れるようにする。
- 各学年の家庭学習について、内容や時間等を検討し、計画的に実施する。また、自主学習についても、「学び方を学ばせること」を大切に、具体的な例を示しながら学校全体で進められるようにする。
- 学校の教育活動全体を通して、引き続き自尊感情を高められるよう、活動内容の工夫を行うとともに、「できた」ことをしっかり認めて称賛することを心がける。

【 全体の概要 】

平均正答率（％）

	国語	算数	理科
学校	—	—	—
大阪市	65	58	55
全国	66.8	58.0	57.1

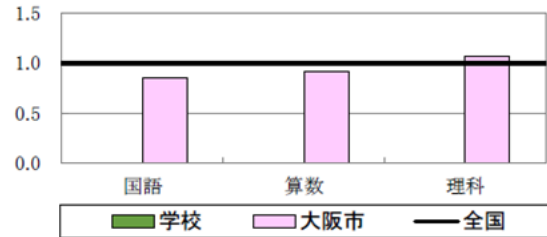
平均正答率(対全国比)



平均無解答率（％）

	国語	算数	理科
学校	—	—	—
大阪市	2.8	3.3	3.0
全国	3.3	3.6	2.8

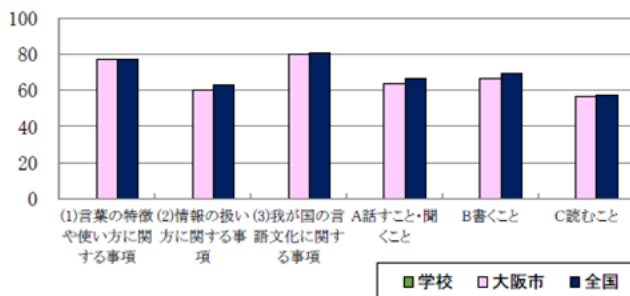
平均無解答率(対全国比)



【 国 語 】

学習指導要領 の内容	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い 方に関する事項	2	—	77.1	76.9
(2)情報の扱い方に 関する事項	1	—	60.4	63.1
(3)我が国の言語文 化に関する事項	1	—	79.9	81.2
A 話すこと・聞くこと	3	—	64.0	66.3
B 書くこと	3	—	66.7	69.5
C 読むこと	4	—	56.9	57.5

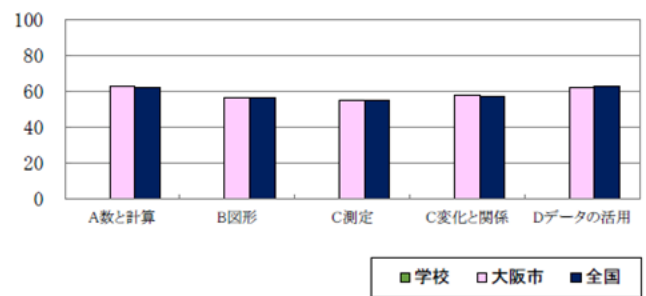
国語 内容別正答率(学校、大阪市、全国)



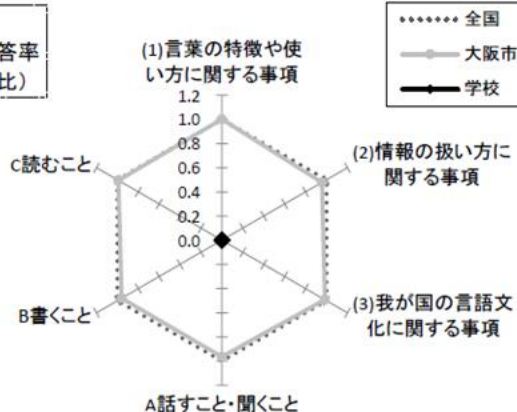
【 算 数 】

学習指導要領 の領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	8	—	62.7	62.3
B 図形	4	—	56.4	56.2
C 測定	2	—	54.9	54.8
C 変化と関係	3	—	58.2	57.5
D データの活用	5	—	61.9	62.6

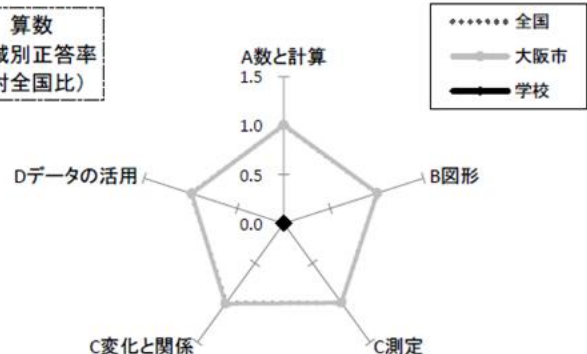
算数 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



国語
内容別正答率
(対全国比)

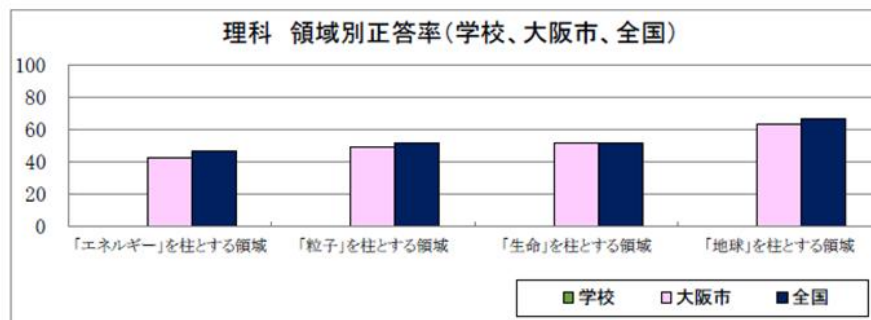


算数
領域別正答率
(対全国比)

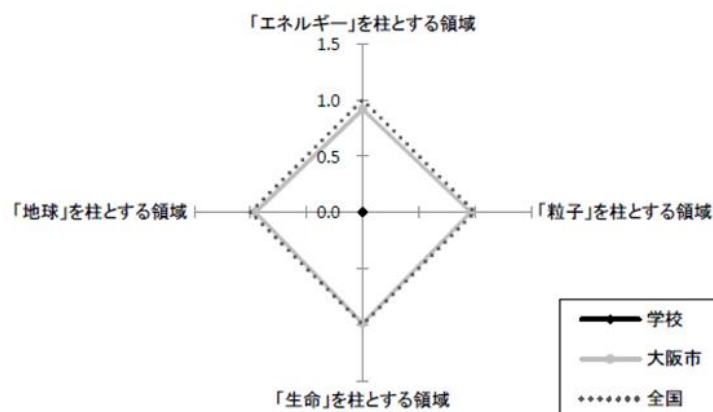


【 理科 】

学習指導要領 の区分・領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 区 分	「エネルギー」を 柱とする領域	—	42.7	46.7
	「粒子」を 柱とする領域	—	49.5	51.4
B 区 分	「生命」を 柱とする領域	—	51.4	52.0
	「地球」を 柱とする領域	—	63.8	66.7



理科 領域別正答率(対全国比)



児童質問より

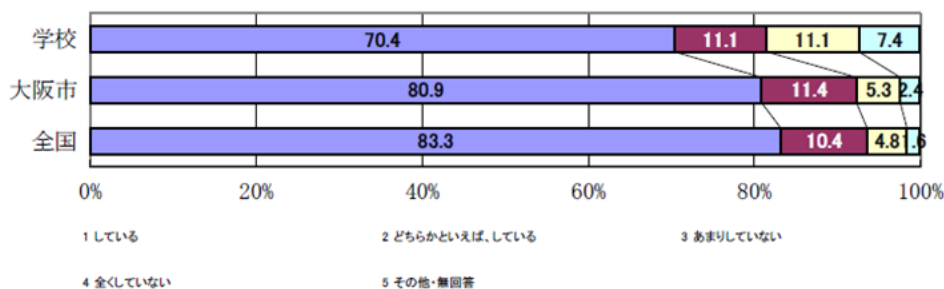
質問番号

質問事項

1

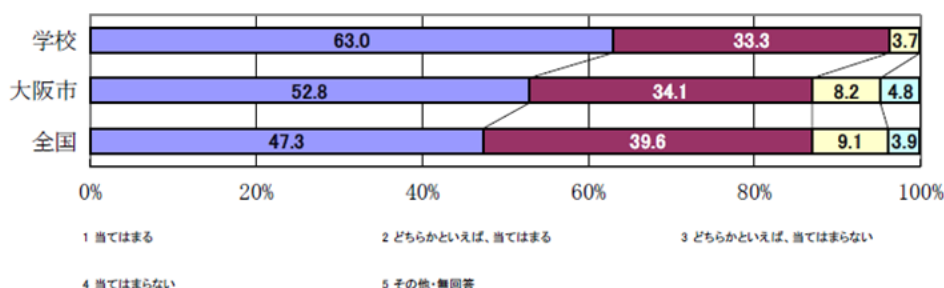
朝食を毎日食べていますか

1 2 3 4 5 6 7 8



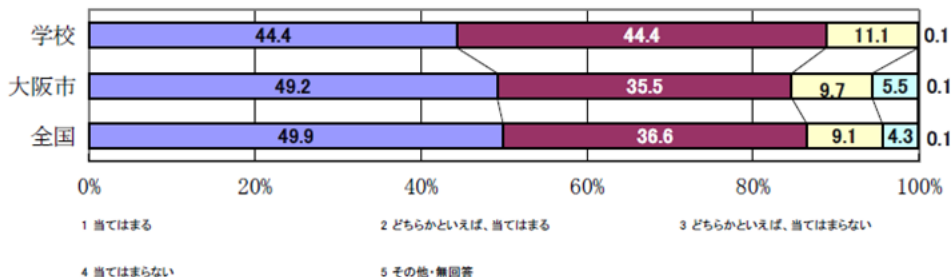
5

自分には、よいところがあると思いますか



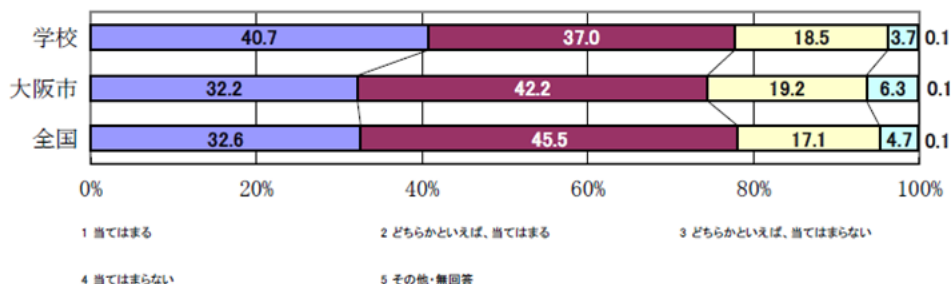
12

学校に行くのは楽しいと思いますか



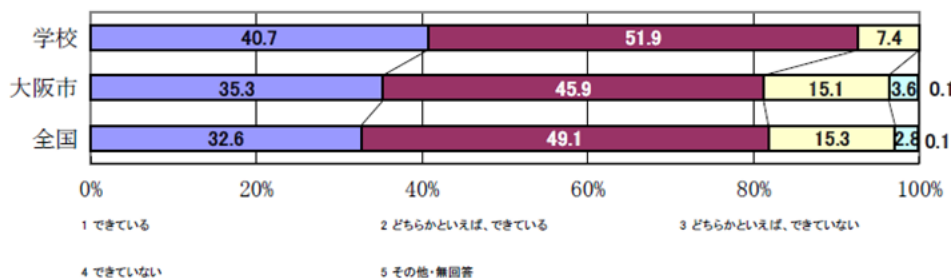
13

自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか



16

分からないことやわしく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか



学校質問より

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

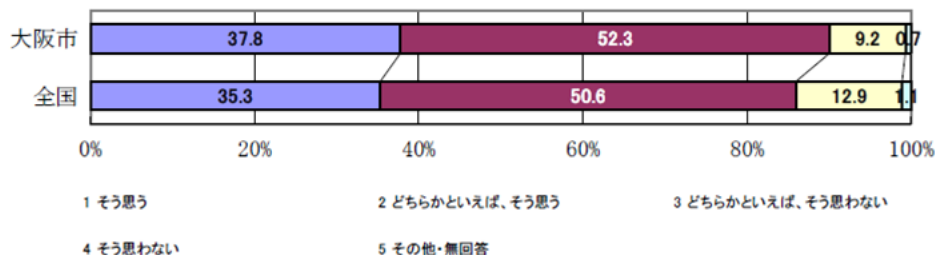
質問番号

質問事項

8

調査対象学年の児童は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか

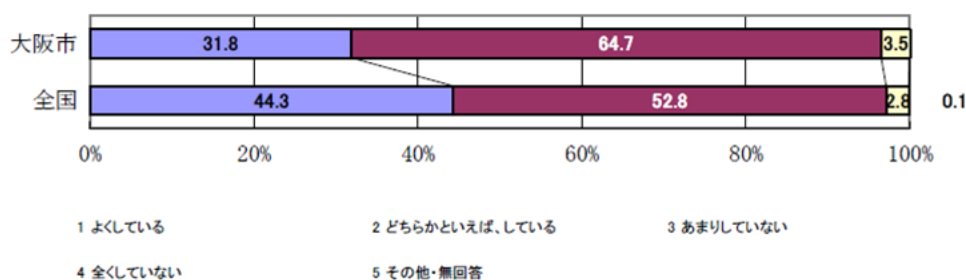
学校「どちらかといえば、そう思う」を選択



15

児童の姿や地域の現状等に関する調査や各種データなどに基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立していますか

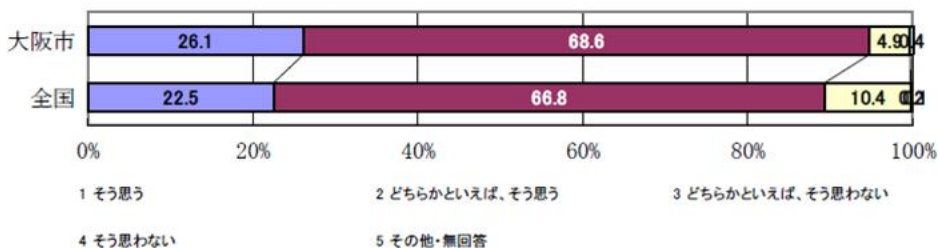
学校「どちらかといえば、している」を選択



25

調査対象学年の児童は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか

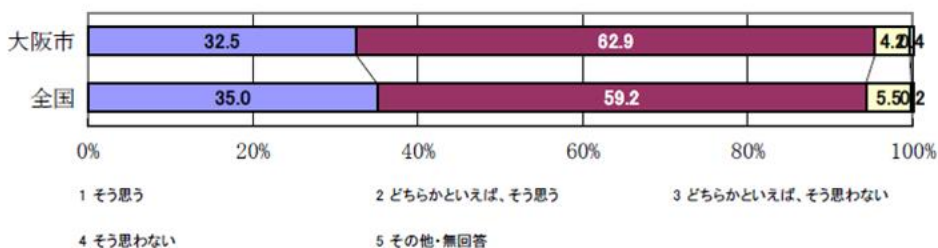
学校「どちらかといえば、そう思う」を選択



28

調査対象学年の児童は、授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいると思いますか

学校「そう思う」を選択



29

調査対象学年の児童は、授業では、自分で学ぶ内容を決め、計画を立てて学ぶ活動を行っていると思いますか

学校「どちらかといえば、そう思わない」を選択

